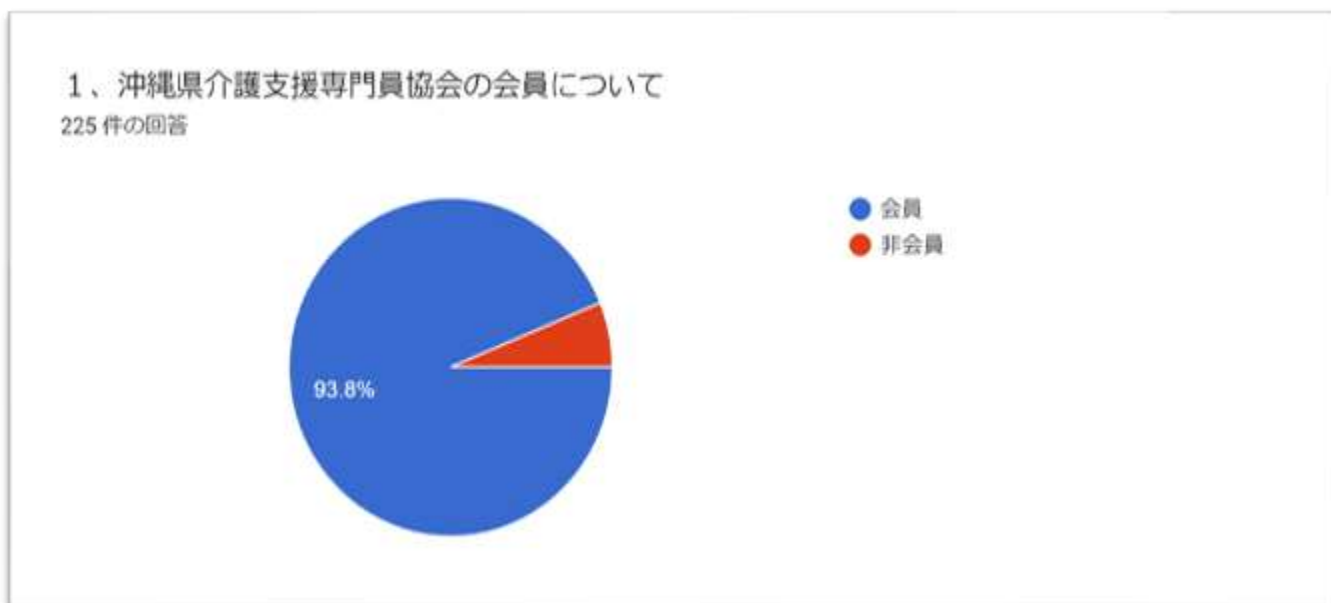


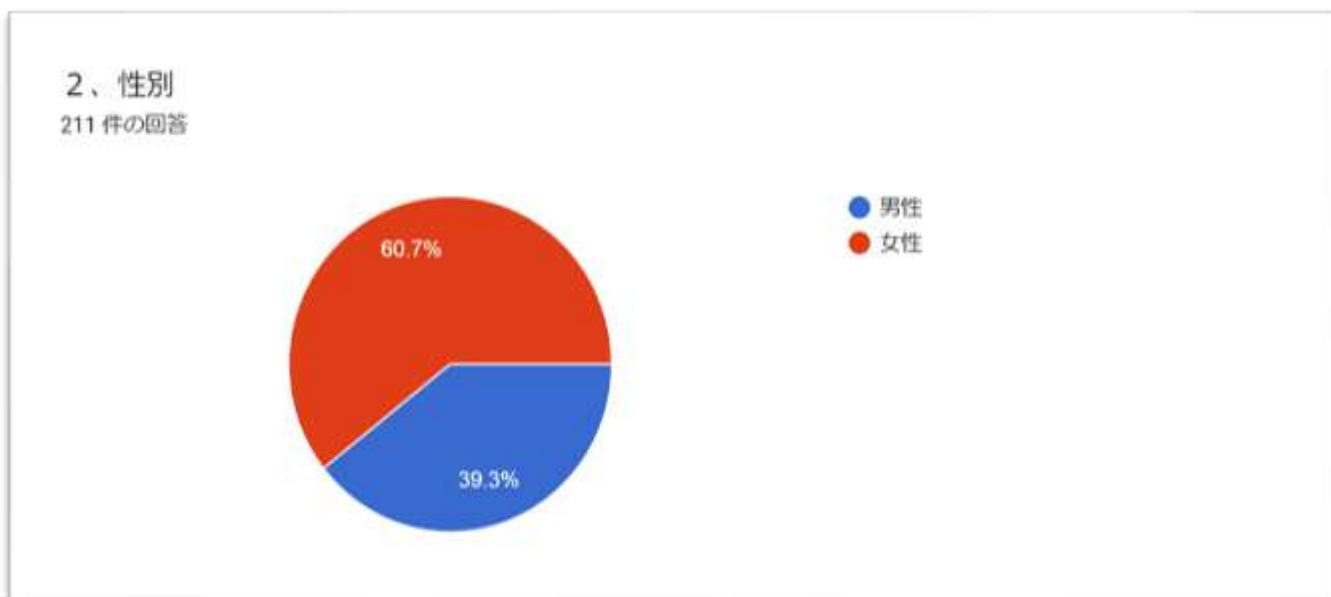
令和元年度

沖縄県介護支援専門員協会 実態調査アンケート結果

本実態調査は、介護支援専門員の労働環境等について明らかにし、介護支援専門員がより良い環境で働く事が出来る様に検討資料とすることを目的としています。

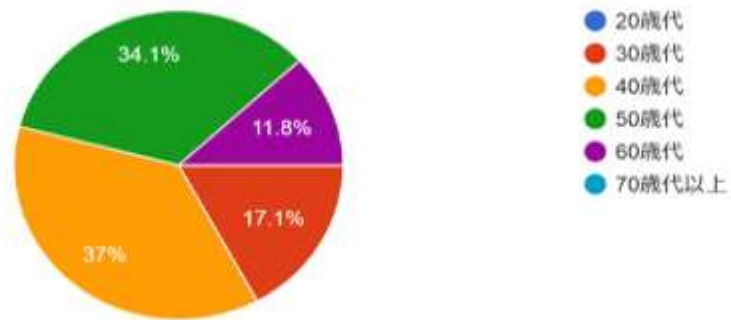


回答者について (会員)



3、年代

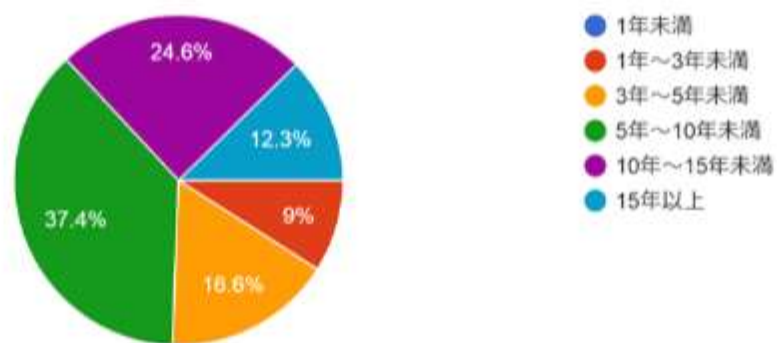
211 件の回答



○年代別集計については、40代50代の年齢の方が多いが幅広い年代の方が業務についている事が分かった。年齢別回答割合の課題を抽出できるよう、今後は全会員の年齢構成も把握する必要がある。

4、介護支援専門員としての実務経験年数（通算）

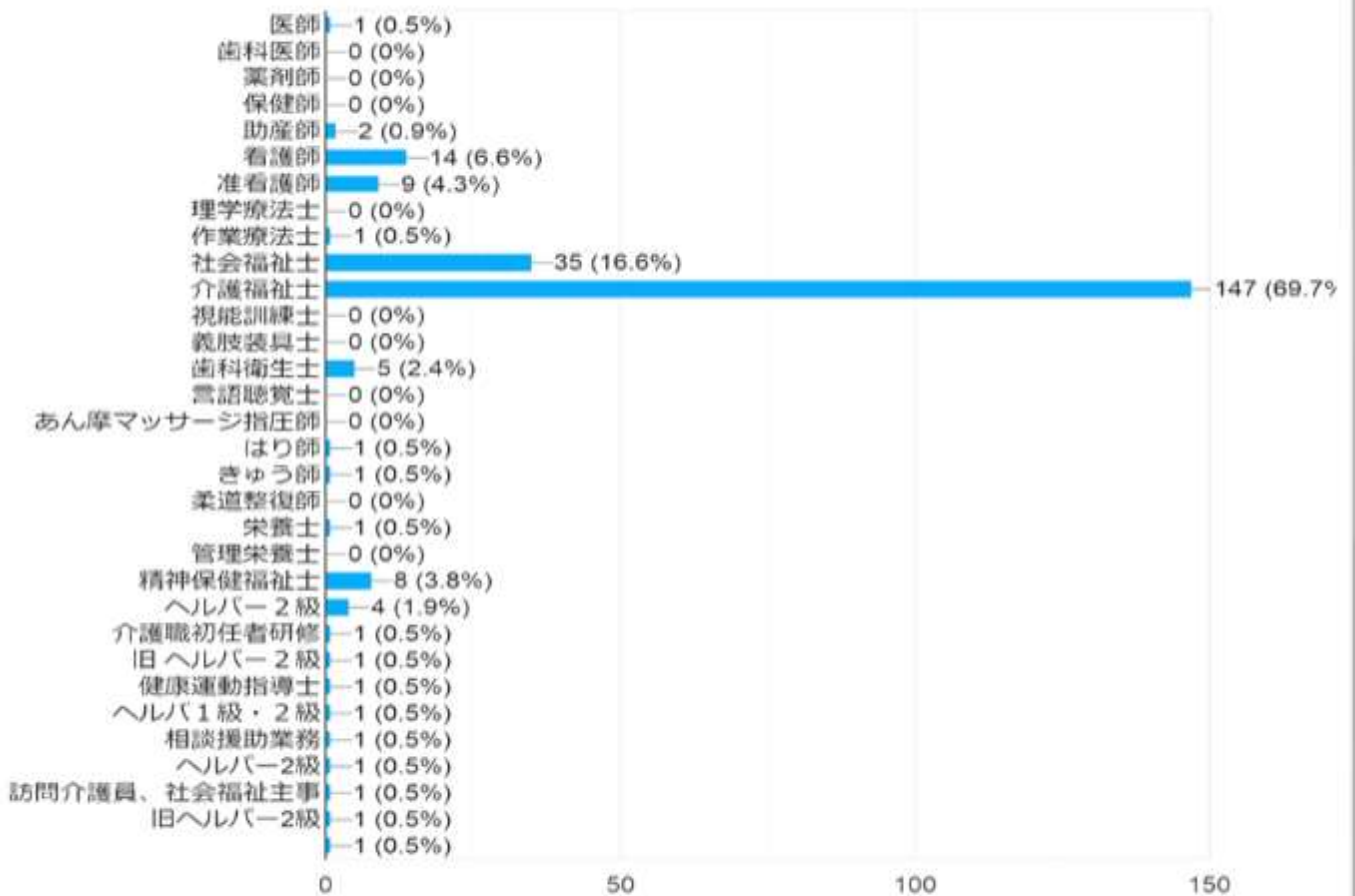
211 件の回答



○8割が5年以上の経験であり経験豊富な人材が多い事が分かり経験が浅いケアマネへの育成ができる環境にある。

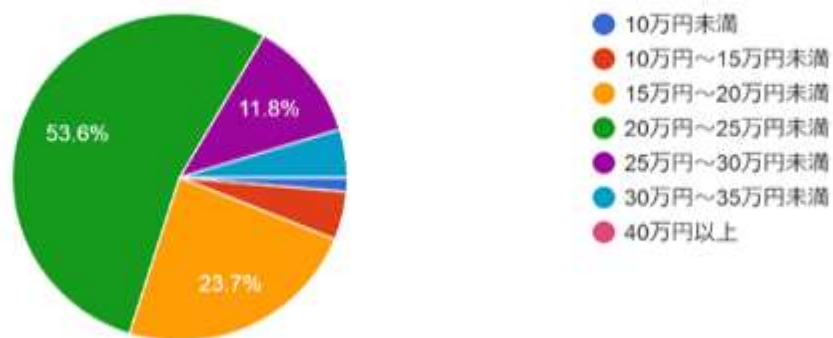
5、あなたの基礎資格について(複数選択可)

211 件の回答



6、令和元年度 10月に支給された総支給について

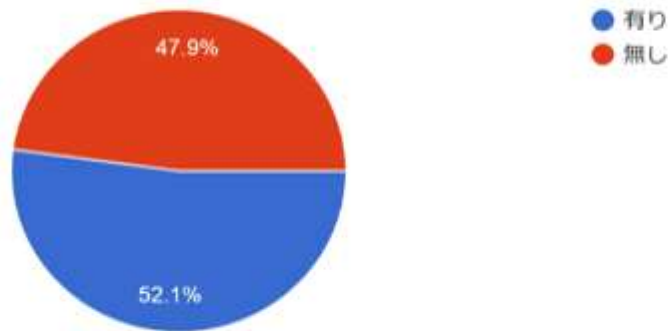
211 件の回答



○報酬に関してはばらつきがある。回答者の経験年数や立場（役職、経営者）等も分類することでより細かい報酬の分類の把握ができるのでは。

7、主任ケアマネ資格について

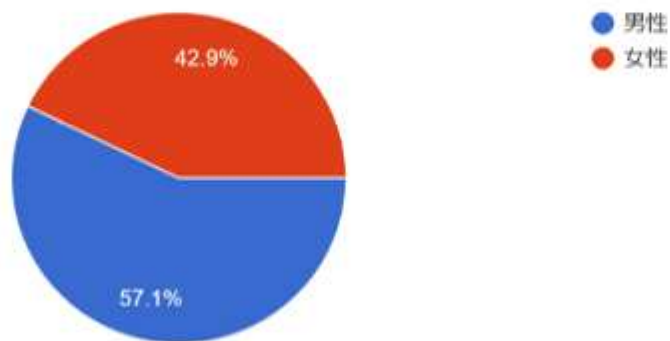
211 件の回答



回答者について(非会員)

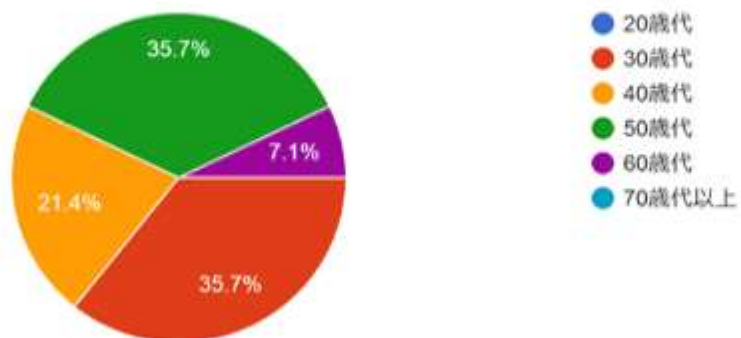
2、性別

14 件の回答



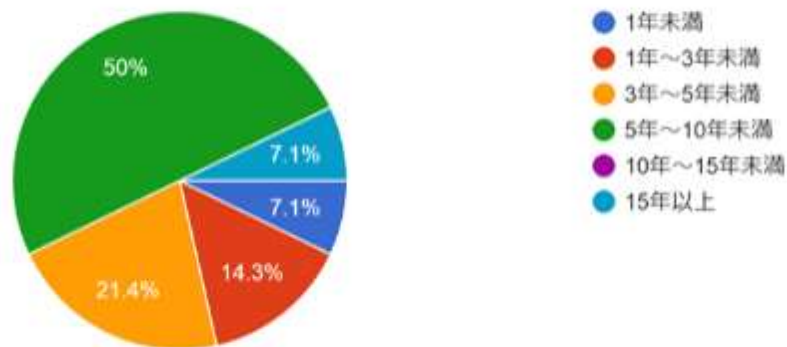
3、年代

14 件の回答



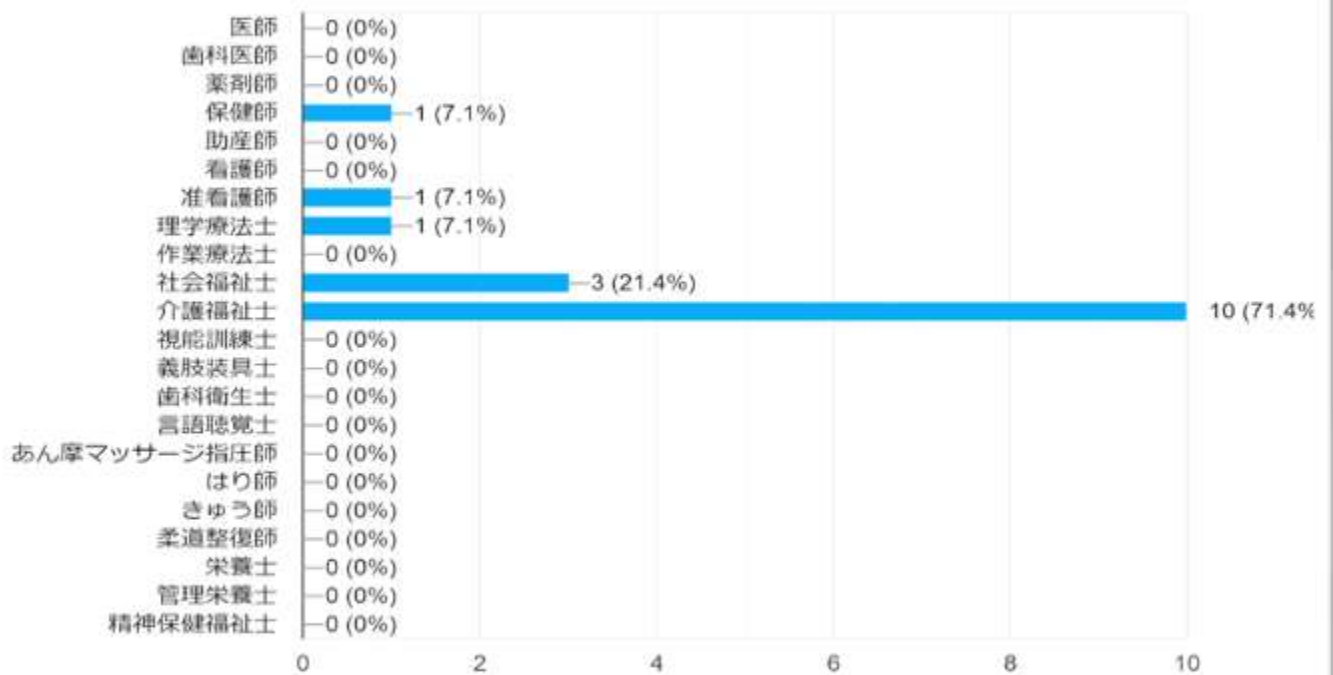
4、介護支援専門員としての実務経験年数（通算）

14件の回答



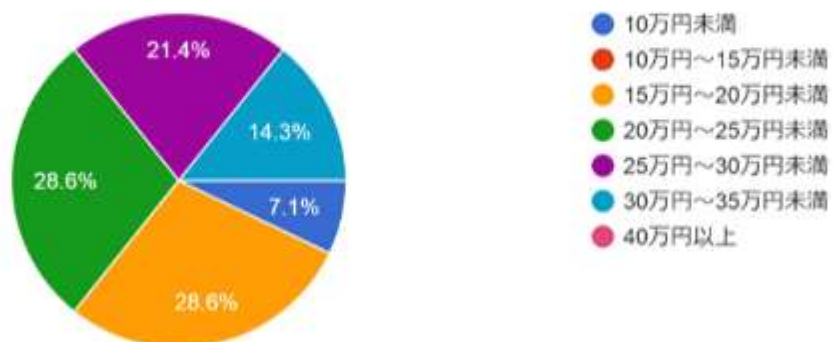
5、あなたの基礎資格について(複数選択可)

14件の回答



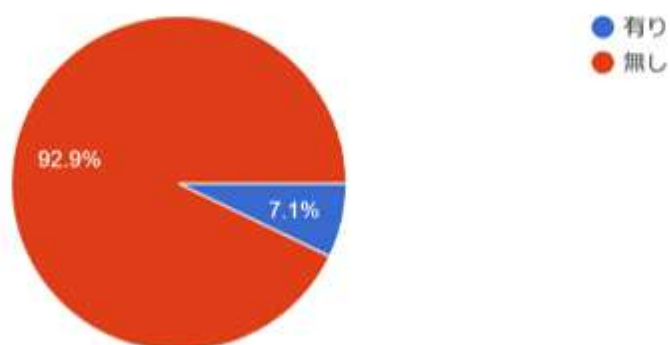
6、令和元年度10月に支給された総支給について

14件の回答

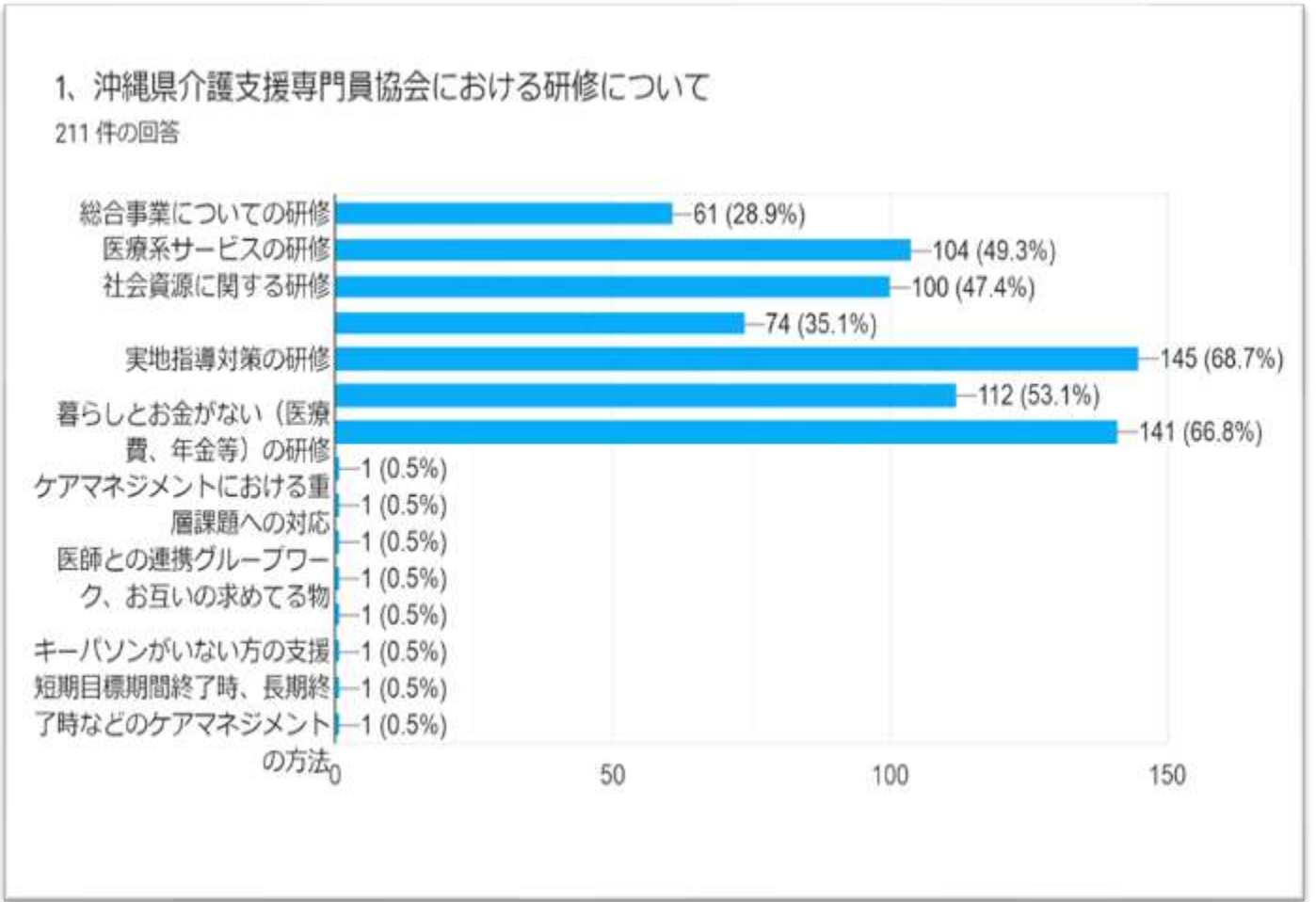


7、主任ケアマネ資格について

14件の回答

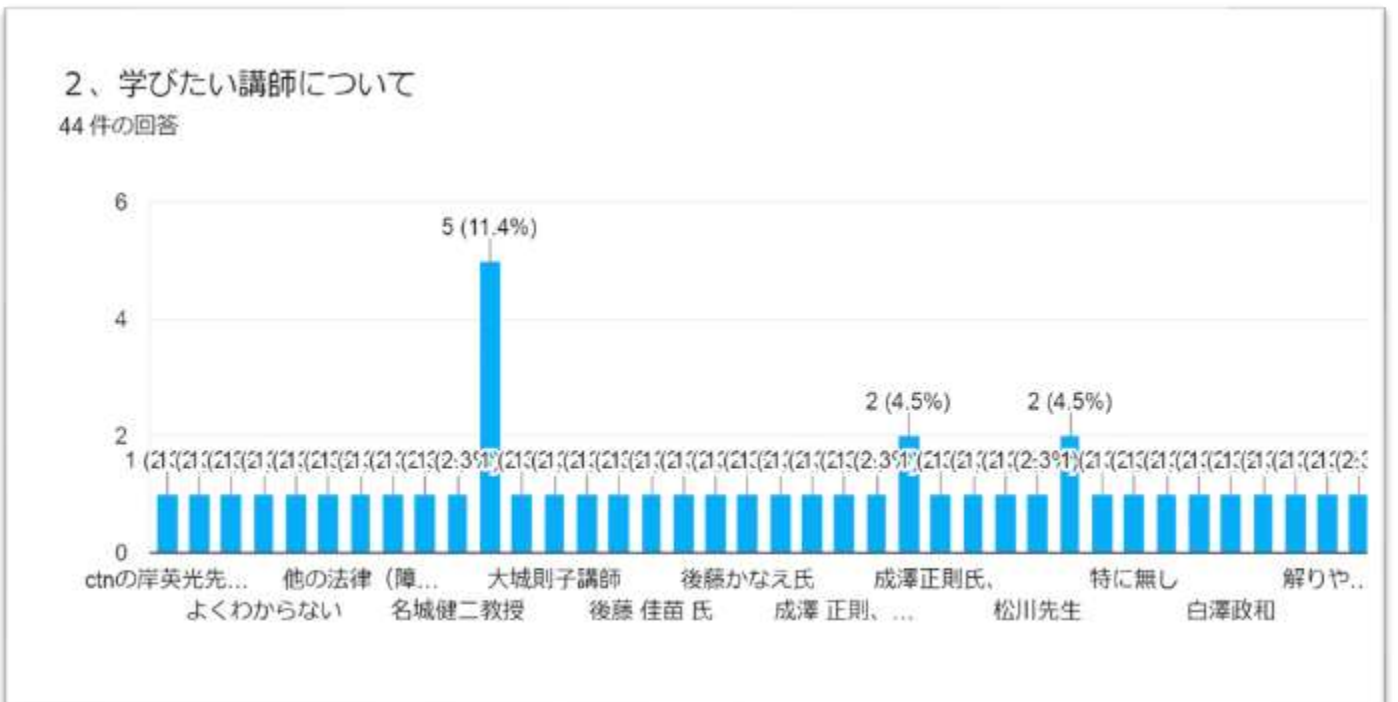


沖縄県介護支援専門員協会の取り組みについて（会員）

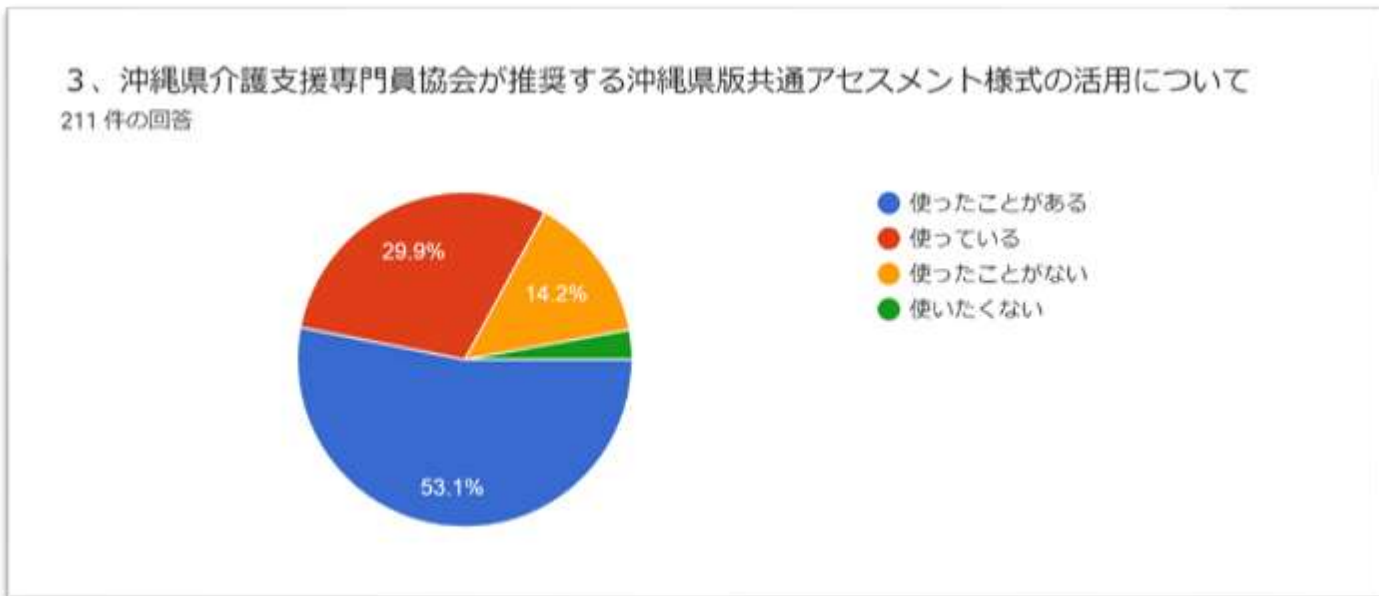


- 1位(145) 実地指導対策の研修
- 2位(141) 暮らしとお金がない（医療費、年金等）の研修
- 3位(112) 権利擁護（成年後見人制度、虐待など）の研修

○研修については実地指導対策を希望する声が多く、ケアマネジャーの不安を取り除けるよう研修の企画等が望まれている。

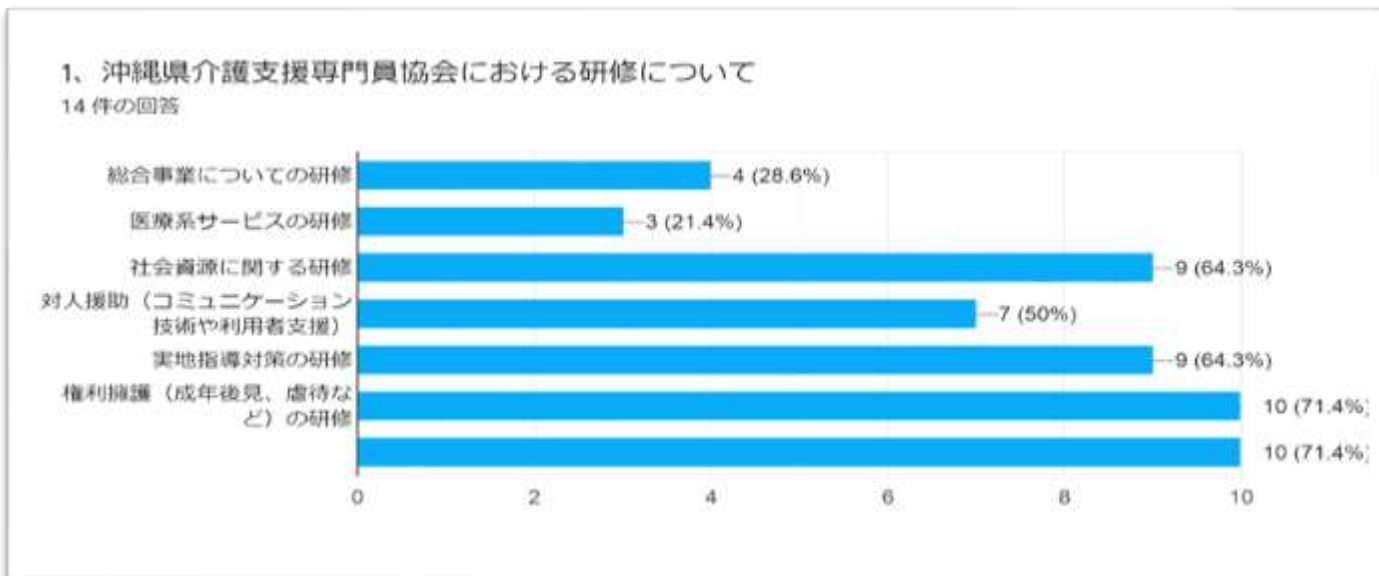


グラフが分かりにくくなっていますが大城則子氏、後藤佳苗氏が 7 件と同等で続いて成澤正則氏が 5 件、竹藤登氏と松川竜也氏が 2 件となっています。



○共通アセスメントについては8割が使ったことがある、使っているとなっている。沖縄県も推奨している事から今後も使いやすいツールとして広く周知していきたい。

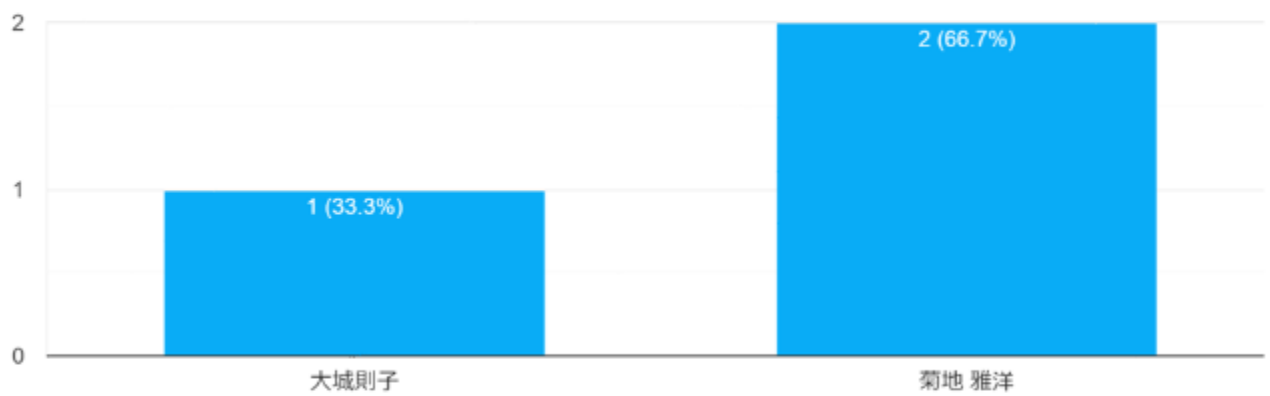
沖縄県介護支援専門員協会の取り組みについて(非会員)



- 1 位(10) 暮らしとお金がない
- 1 位(10) 権利擁護の研修
- 3 位(9) 実地指導対策の研修

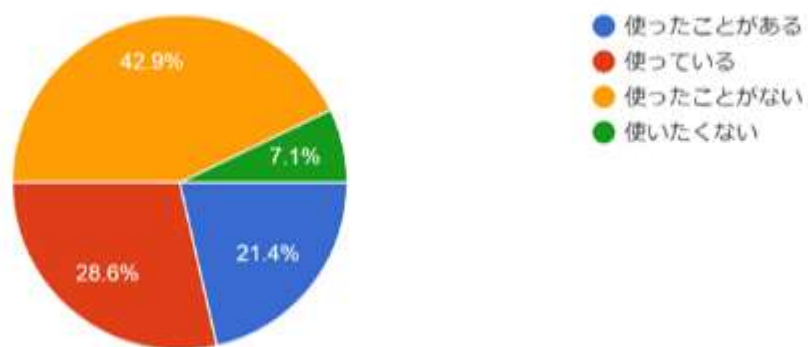
2、学びたい講師について

3件の回答



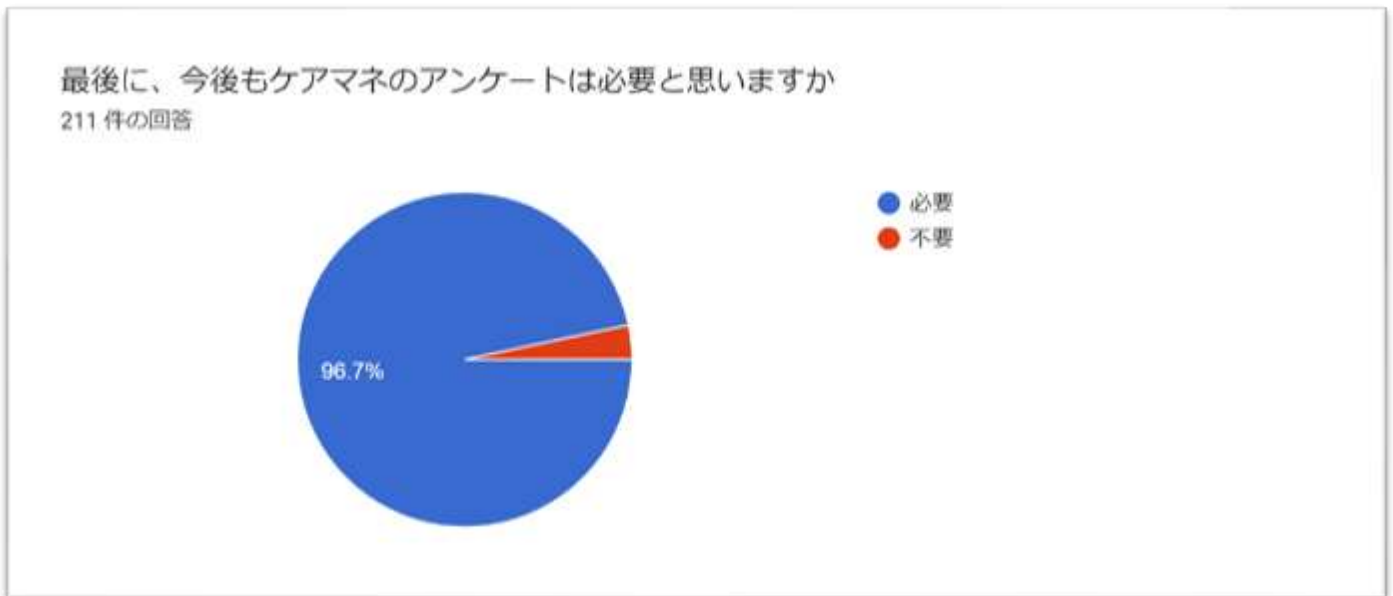
3、沖縄県介護支援専門員協会が推奨する沖縄県版共通アセスメント様式の活用について

14件の回答

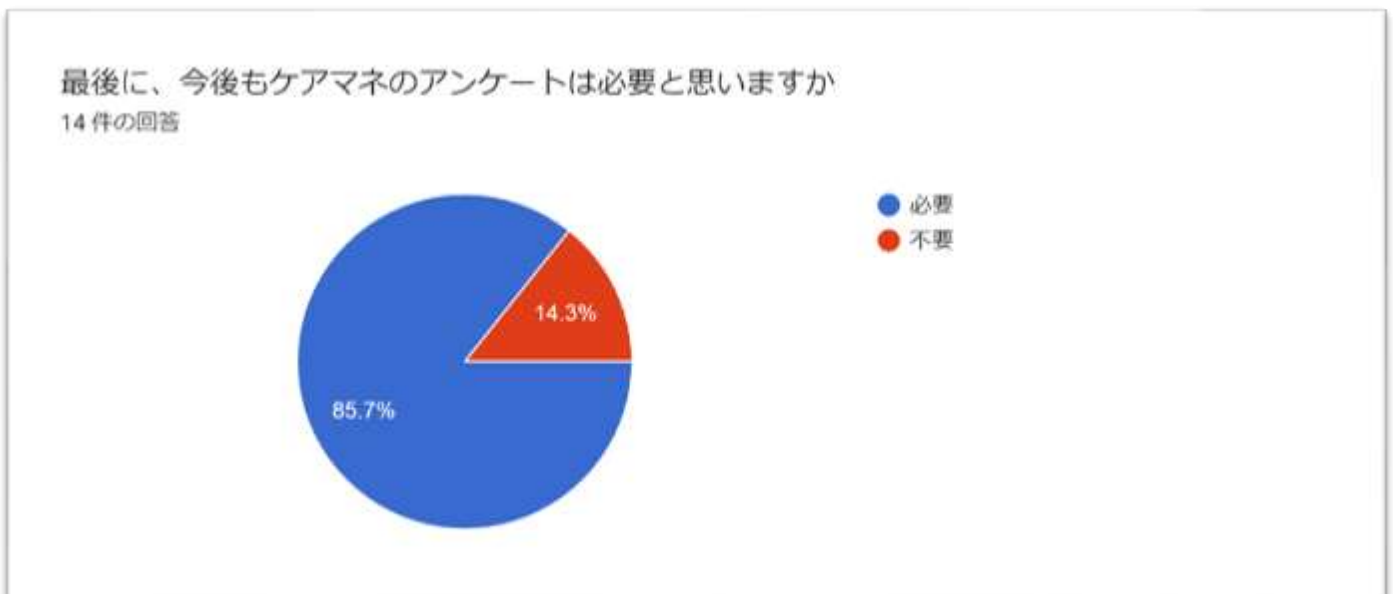


非会員では約半数の方が使っている、使ったことがあると回答している。

今後のアンケートの継続について(会員)



今後のアンケートの継続について(非会員)



○アンケートの継続については9割が必要性感じている。目的や回答率の向上、実施方法、アンケート結果の活用についても今後検討していく必要がある。

実態調査アンケート結果を受けての考察

○お忙しい中、アンケートにご回答された皆様ありがとうございます。アンケート回答者は会員、非会員共に福祉職の方が多く経験年数も5年以上が多数、主任ケアマネも半数以上いて経験豊富な人材が多い事が分かった。学びたい研修は実地指導対策が多くそれを担える講師の回答が多かった。1700名余りの会員数の中で225件と回答率が低かった。HPへアップしている期間の短さもあるが、主任ケアマネが多く、豊富な人材が多い事から支部内、事業所内での周知を徹底していきたい。回答者の関心も高い事から今後も興味を引くようなアンケートを作成していきたいと思えます。今後も宜しくお願いします。